

1. 指定管理者名	公益財団法人　多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日　～　平成33年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)図書館法第3各号に規定する事項に関すること。 (2)図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3)市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4)読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5)図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間 /日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P266(利用冊数) ※平均値比●% =(H29度実績)÷(過去1年間実績平均値)) 開館日数:日(H29:296日,H29:296日) ＜1日当たりの貸出冊数＞ 子ども情報センター:平均値比106% =217冊÷205冊	4点		
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	年次報告書P.266(利用人数) ※平均値比●% =(H29度実績)÷(過去1年間実績平均値)) 開館日数:日(H28:296日、H29:296日) ＜1日当たりの利用人数＞ 子ども情報センター:平均値比100% =44人÷44人	5点		
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P269～278(文化事業一覧) ・子ども情報センタースペシャルサンクスデイ 143人 ・たじみ子どもの権利の日協賛事業 未来図書館とUFO ワークショップ「特大の絵本を一緒につくろう」 2回 53人 未来図書館とUFO イベント「未来人がやってきた！」 81人 ・子ども会連合会 ・企画展示 75回	仕様書以上 14点	・図書館の既存概念を変える子どもの想像力を引き出す楽しいワークショップを実施することができた。 ・子どもの目線に合わせて展示スペースを広げたことによって、自ら子どもが本を選ぶことのできる環境を整えることができた。 ・子ども会連合会の支援が良くできた。	14点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P269～278(文化事業一覧) ・たじみアグレッシブ部 多治見高校文芸部、多治見西高校茶華道部、まんが部、多治見北高美術部、音楽部 ・レゴブロック遊ぼう！学ぼう！ 44人 ・おはなしのかい ぼっぼ 子どもと一緒に、学ぼう！知ろう！防災訓練ほか ・おはなしのかいEーぼっぼ ・わくわく親子講座、子育てママのスタート講座 ・小学生あむあむクラブ 6回 23人 ・子ども夢ネット リニューアル ほか	期待以上 14点	・地元高校生の活躍を知ってもらうための支援ができた。手法についても高校生の提案をうまく取り入れることができた。 ・施設の特徴にあった災害に対する備えの大切さを学ぶ事業を展開することができた。 ・図書館にある本を基に手作りの工作を取り入れ、小学生の来館を促すことができた。 ・機関紙のリニューアルに高校生の力を活かすことができた。	14点		
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	子ども情報センター:年次報告書P280(維持管理業務) 定期清掃、日常清掃を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点			
②保守・点検		子ども情報センター:年次報告書P280(維持管理業務)			適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
③保安・警備		子ども情報センター:機械警備業務を委託して実施(毎日)			適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
④小規模修繕		子ども情報センター:年次報告書P280(有償修理の内訳) 有償修理 全8件 総額 374,144 円			適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		・毎月1回、施設内点検作業を実施し、施設において作成した独自の安全チェックシートに従い、建物内外の安全点検を行うとともに、自動ドア、本棚、展示棚、椅子等の備品、PCの不具合の確認を実施。			適正(普通) 2点	適正に実施されている。					

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・不要な文書は作成しないことを心がけるとともに保管場所は、退社時に施錠。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			・敷地内の緑化スペースを確保し、夏場の職員による細目な剪定と業者による年2回の植木の剪定、花壇の整備を計画的に実施。 ・空調に頼らない室内環境を心がけ、窓にはUVカットのシートを張り、ブラインドを全開にすることで、時間によっては3/5の蛍光管を消灯、節電効果につなげている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・障がいのある方が利用される場合には、その都度職員が対応する体制をとっている。 ・道路から玄関までのスロープに危険がないかどうか毎日チェックし、安全を確認している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			・備品はすべて定位置を決めて保管し、必要以上に在庫を持たないことで、管理棚の省スペース化を徹底し、取り出したい備品がすぐに見つかるようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・図書館システムのサーバーは、事務用回線から独立させ、情報流失防止対策を取っている。 ・各種申請書など個人情報が記載されている書類は、確認処理が済み次第シュレッダーで粉碎処理をしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	0点	
		3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入287,166,459円÷支出299,587,519円＝96% 学習館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む。	100%未満 3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・利用者カードの有効期限の更新時期がくると、WEB利用に制限がかかって使用できなくなり、利用できない期間をなくしてほしい。 →更新は、窓口にて半年前から更新時期を知らせるポップをあげるようにシステムを変更し、お客様のWEB画面には、有効期限の問題であることをお知らせするコメントを出すようにし、2点について改善した。 ・年齢に応じた絵本を知りたい。 →一人ひとりの子どもをよく見ることを大切に、読書歴や今の興味を鑑みて選書のサポートをするようにしている。 ・おはなし会の後に、わらべうた遊びや伝承遊びを取り入れた「おはなしのかいぼっぼ」が非常に好評。若いお母さん方から、「とても参考になった。もっと知りたい。」との要望が寄せられた。→おはなし会でも継続して取り入れながら、子育てママのスタート講座「親子で楽しむ季節のあそび」にて、子育てのヒントを提案できるような講座として開講。 ・英語への関心が高く、読みきかせや講座のニーズが高まっている。 →親子で楽しみながら生の英語に触れることが出来る無料のおはなし会を講師2名が、それぞれ毎月1回ずつ開催。 ・子ども主体で行う英語講座を開講してほしい。 →幼児から小学生までを対象とした英語講座を開講。ゲームや英語の歌を楽しみながら、生の英語に触れる時間を持つことが出来た。	期待以上 9点	さまざまなニーズに迅速かつ適切に対応している。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	特になし。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に適切に対応している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	○巨大地震に備えた避難訓練と施設整備 ・南海トラフ巨大地震に備えて、利用者の安全の確保、職員の防災に対する意識の向上を高める取り組みを実施。 ・子どもにもわかりやすい避難経路マップ作成 ・書架の耐震、転倒防止の対策 ・乳幼児用防災頭巾、幼児及び小学生用、大人用ヘルメットを1階図書室カウンター脇に、ハンドライトを各部屋入口に設置 ・施工済みの図書室窓ガラス飛散防止フィルムに加え、玄関ドアへの施工 ・イベント時における地震を想定した避難誘導訓練の実施 ・子どもを地震から守る備えについて、多治見市役所防災企画課職員による講話の実施 ○絵本から読み物へ 自ら広げる絵本・創作の世界 ・子ども達が、絵本からひとり読みへとスムーズに移行することが出来るように、読み継がれている本や子どもの心に寄り添うことができる本を収集、提案した。子どもの目線にあわせて展示スペースを広げたことで、思わず立ち寄らずにはいられないオープンスペースになり、ひとり読みへの移行期の子ども達にアプローチすることが出来た。子ども達に絵本を手渡していくことを大切に考え、本好きの子どもを増やす「環境としかけ」を整えてきたことが、利用の増加につながっていると捉えている。今後も、子ども達にとっての読書環境をしっかりと整え、新しいしかけを創出していく。	期待以上 14点	・より良い施設運営・事業実施のための提案がされている。 ・特に高校生の活躍の場を支援することができた。 ・災害に備えた避難訓練を取入れた事業と施設整備ができています。	14点	

5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし		0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点	極めて良好
							全体的な評価 ・おどろく発想で、図書館の既成概念を良い意味で変えて、子ども達の声を聴き、そこから事業の企画や内容の発展をすることができ、夢のある事業となった。 ・職員もボランティアの方も学生ボランティアも楽しんで事業を行っている。 ・利用者の意見や要望に迅速に対応している。 ・全体的な施設の管理運営については、良好に行われている。	